

■宇喜多秀家 秀吉五大老の一人で、関ヶ原の戦いの西軍で敗れ、八丈島流人1号となり、在島50年にして病没した。

うきたひでいえ

三方原の戦い・1572=

児島湾周辺を拠点に家臣団を形成し西大寺に寄進するなどして_備前・美作を領国とし豊かな経済力を有した宇喜多直家の子に生まれ、家氏と名乗る。

室町幕府滅亡1573= 1歳 :

この間、父は毛利氏と和睦し、毛利氏を頼ってきた足利義昭を支えるが、

安土教会許可1579= 7歳 : この年、ついに父が織田信長に降参し、豊臣秀吉の仲介によって、その配下となる。

父の病状が悪化し、

パレヱノ謁見 1581= 9歳 : 父が死去。遺領備前・美作を相続し、以後、豊臣秀吉の庇護のもと、母円融院の後見されて育ち、

本能寺の変・1582=10歳 : この年、毛利軍と激突した家臣団が敗北するも秀吉の西征によって救われ、直後の*本能寺の変で、秀吉の天下獲りが始まり一気に出世の道が開かれる。いきなり、従五位下・侍従に叙され、"秀"の字を与えられて秀家となり、秀吉の溺愛する養女の前田利家の娘豪姫と婚約して、豊臣家の一員に加えられる。

長久手の戦い・1584=12歳 : 千利休の茶会に参加。酒津堰の改修を行う。毛利氏との和睦が成立し、_備前・美作・備中半国・播磨3郡の57万石余の領国が確定、以後、豊かな経済力背景に家臣団らにサポートされ、

豊臣秀吉関白1585=13歳 : 紀州雑賀・根来寺攻め、長宗我部討伐に参加し活躍、以降、秀吉に従い各地に転戦。

茶の湯、能、和歌・連歌など芸能にも造詣深く、

パレヱノ追放令 1587=15歳 : 従四位下・参議。九州征討に参加。

刀狩海賊取締 1588=16歳 : 秀吉主催の能の会に参加。姉が秀吉の養女とされ吉川広家と政略結婚。*後陽成天皇の聚楽第行幸に供奉、徳川家康らに並ぶ扱いで、完全に豊臣家中となるなか、岡山城改修と城下町の建設を始め、

秀吉の鷹狩りにに随行。_領国検地を本格化、

秀吉全国統一1590=18歳 : 千利休の茶会に参加。_小田原北条氏征討に参加。豪姫と正式に結婚し、

土農工商公布1591=19歳 : 長男秀高が誕生。千利休の茶会に参加。

文禄の役・1592=20歳 : 千利休の求めに応じて竹を贈る。神谷宗湛の茶会に参加。_秀吉の分身となって朝鮮に出兵し指示伝達するうち、朝鮮側の抵抗に、総大将として実戦参し、活躍。

方広寺大仏殿1593=21歳 : 禁裏での能の会で「楊貴妃」を演じたのを始め、もっぱら女性の役をしていることから、秀吉に寵愛されていたことが分かる。_岡山城下町の整備が成って掟を定め、

伊豆島通交・1594=22歳 : 秀吉主催の能の会に参加。来住法悦に商業上の特権を与える。_従三位・権中納言と、武家では豊臣秀長・秀次に並ぶ異例の位階に至る。児島湾の新田開発、惣検地の実施など領国支配の進展につとめ、

関白秀次事件1595=23歳 : 秀吉に起請文を提出。領国内の寺社に一斉に寄進を行う。

慶長の役・1597=25歳 : この一年、秀吉に児島酒を贈る。_再び朝鮮に出兵、

豊臣秀吉没・1598=26歳 : 次男秀継が誕生。*秀吉の死に臨み、ついに五大老の一人に抜擢されるが、

前田利家没・1599=27歳 : 徳川家康に起請文を提出。_家中騒動が勃発し、徳川家康の策謀により、

関ヶ原の戦い・1600=28歳 : *処分され、譜代家臣の主力を失う。関ヶ原の戦いでは、石田三成に擁立され西軍の中心となって敗れ逃走。

朱印船制始・1601=29歳 : _なお残る家臣らの支えで、薩摩に入国して島津氏のもとにかくまわれるが、

阿国歌舞伎始1603=31歳 : 徳川家康による島津氏安堵により、露見。島津氏の助命嘆願により死を免れたが、駿河国久能へ流され、

江戸城完成・1606=34歳 : _伊豆八丈島へ配流、"流人の島第一号"として、長男・次男ほか総勢13人で島に辿りつく。

家康駿府退隠1607=35歳 :

1608=36歳 :

この間、島の生活になじめず病臥し、新たに妻子を持ち、島の人たちに助けられる一方、妻豪姫の実家加賀藩からは毎年のように様々な物品が送られ、かつての忠実な家臣から仕送りを受けながら、

徳川家康没・1616=44歳 :

吉原遊郭始・1617=45歳 :

人身売買禁止1626=54歳 :

徳川秀忠没・1632=60歳 :

鎖国令Ⅱ・1634=62歳 : この年、実家加賀藩に身を寄せていた妻豪姫が死去したが、その報は伝わっていたと思われる。

参勤交代始・1635=63歳 :

家光鎖国完成1641=69歳 :

明滅亡・1644=72歳 :

市中諸法度・1648=76歳 : 長男秀高が死去。

徳川家光没・1651=79歳 :

島に漂着した船が備前の国のものと聞くや懐かしさのあまり船員に声をかけるなどして、

野郎歌舞伎始1653=81歳 :

1655=83歳 : 在島50年にして、没した。

没後、島では宇喜多一族は12家に分かれ、やがて流人頭を務めるなど、繁栄を築いて行く。

ミネルヴァ日本評伝選「宇喜多直家・秀家」、「日本史を変えた人物200人」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「人物日本歴史館」、「日本の群像」、平凡社百科事典、